

《龍神社》

龍神社は、平安時代の初期に伊予の国司であった源寛王（みなもとの かんおう）が創立した神社です。祭神である「龍神さま」は、水をつかさどり、雨を降らせるという龍の姿をした神様です。境内の南方に小野川の龍神淵があったところから、名付けられたようです。

拝殿の奉納絵馬には、征夷大將軍である源頼朝（みなもとの よりとも）公が、巻き狩りをしている姿が描かれたものがあります。また境内には、交通の安全を祈る「巖島神社」や、新田義貞一族を祭った「新田神社」があります。



【鳥居】



【「龍神社」と書かれた額】



【拝殿】



【奉納絵馬】



【新田神社】